

『安全・安心』の視察研修

玖珠地区防犯協力会



日田市光岡公民館へ視察研修

- 玖珠地区防犯協力会会長・小野菊男は、一月二十二日に防犯活動の先進地である、日田市光岡公民館への視察研修を実施しました。
- 地域住民が主役となる「オンラインワンのまちづくり」をめざして様々な活動を行っている光岡地区は、警察庁の「地域安全・安心ステーション」モデル地区事業に指定され、昨年全国表彰を受けました。
- 同地区で実施されている、身近にできる安全対策十項目を紹介いたします。
- 一、防犯について家族で話し合う
 - 二、「子ども一〇番の家」を子どもに教える
 - 三、近所付き合いを見直す
 - 四、近所の子どもの安全に気を付け、あいさつを交わす
 - 五、児童の登下校時に買物や散歩を行う
 - 六、セミナーなどの防犯イベントに参加する

- 七、地域の環境浄化活動に参加する
- 八、地域パトロールに参加する
- 九、地域防犯NPOなどの活動に参加する
- 十、安全マップの作成

防犯協力会では、研修で学んだことを今後の活動に活かしていきたいと思えます。地域の皆さんも自分ができる身近な防犯活動を心がけて、地域の子も達は私達の手で守っていきましょ。

防犯活動は、すぐに行動すべきである。

防犯は、家庭地域が大事である。

無病息災を願って・・・

各地でどんど焼き

一月十四日、各地で「どんど焼き」が行われました。玖珠地区でも数ヶ所で大きな炎が上がりましたが、今年には塚脇地区の「どんど焼き」が数十年前ぶりに復活しました。



塚脇どんど焼き会場のようなす



当日は、「塚脇どんど焼き実行委員会（委員長 山上誠治）」の皆さんをはじめ二百名ほどの参加があり、神事に続いて年男・年女の方々によってやぐらに火が点けられました。

パンパンと竹の弾ける大きな音とともに燃え上がる炎を囲みながら、用意されたかつぱ酒や豚汁・ぜんざい、焼き鳥等でしばし寒さも忘れ、地域の交流を図りながら一年の無病息災を祈念しました。

「麦の会」自主学習会



安全で健康的な食の推進活動をしている玖珠地区食生活改善推進協議会（会長 手島照子）「麦の会」では、二月の自主学習会で、「大分農政事務所」の方を招いて、農業の安全性についての勉強会を行いました。

農業は、農薬取締法に基づき厳しい検査を経て、使用者・消費者に対する安全性や環境への影響のないことが確認されているとはい

え、消費者としてはごく少量の残留農薬も気になるところ。会員の皆さんは、説明に熱心に耳を傾け、日頃から気になる輸入食品の安全性についてなど、多くの質問や意見が交わされました。

「麦の会」の皆さんは「ヘルスメイト」として、赤ちゃんから高齢者まで、様々な健康教室などで食育活動を活発に行っています。



「麦の会」勉強会と調理実習



麦の会より カルシウムたっぷりメニューの紹介



いわしのパネソテー

水気をふき取ったいわしに、塩・こしょうをふり、小麦粉を薄くまぶし、溶き卵にくぐらせる。パン粉にスキムミルク・みじん切りにしたパセリ・粉チーズを混ぜ合わせ、にまぶす。フライパンにサラダ油を熱し、のいわしを両面こんがり焼く。お皿にサラダ菜を敷き、焼いたいわしと、くし切りにしたレモンを添える。

材料（2人分）

- いわし（3枚おろし）2尾分
- 塩・こしょう 少々
- 小麦粉 適量
- とき卵 適量
- パセリ 1房
- パン粉 大さじ2
- スキムミルク 小さじ1
- 粉チーズ 大さじ1
- サラダ油 大さじ1
- サラダ菜 2枚
- レモン 適量

暮らしのミニ情報 (台所編)

キッチンバサミのお手入れは・・・

4～5枚重ねたアルミホイルをキッチンバサミでジョッキジョッキ切るだけで、はさみの切れ味が違ってきます。この方法は花バサミなどもOK。アルミホイルは新しい物でなくても、使用した後のもので十分です。

お米にいやな匂いがついたら・・・

お米はしばらくおいておくと、いやな匂いがつくことがあります。そんな時は、お米を研ぐ際に、ボールになみなみと塩水を作りその中でざるに入れたお米を研ぎます。あとは、水を流しながら普通に洗えば大丈夫。炊き上がったときにはいやな匂いがなくなっています。

さびた包丁は大根にクレンザー

大根の切れ端にクレンザーをまぶし、円を描くように、クルクルと刃の表面を磨くだけです。手を切らないように、包丁はまな板の上に寝かせて、安定させておきましょう。板前さんが、一日の最後に行っているお手入れ法だそうです。